

令和7年度 愛知県栄養士会 第2回医療部会研修会 報告

開催日時：令和7年11月1日（土）13：00～16：30（オンライン受付12：30）

場所：対面 および オンライン

対面会場：愛知医科大学病院アメニティ棟



参加者：オンライン46名、現地13名

テーマ：

第1部 基調講演「医療施設の給食管理の効率化、合理化と給食サービス」

講師：静岡県立大学食品栄養科学部（兼 大学院薬食生命科学総合学府）

栄養生命科学学科学科長 フードマネジメント研究室教授

市川 陽子先生

第2部 パネルディスカッション

「持続可能な栄養管理のために、これからの給食管理」

コーディネーター：佐藤 英成先生

（独立行政法人国立病院機構 石川病院 栄養管理室）

パネリスト：朝倉 洋平先生

（特定医療法人衆済会 増子記念病院 臨床栄養課）

パネリスト：奥菌 美代子先生

（エームサービス(株) IDS センターフェロー）

【研修会内容】

今回の研修会では、第一部で市川先生より、現在、病棟での臨床栄養業務の比重が高まる中、入院患者の栄養管理を適切に行うためには、患者が実際に口にしている食事を理解し、給食管理を把握しておくことの重要性についてお話いただきました。また、物価高騰や人材確保の難しさなど、給食管理を取り巻く環境が厳しさを増す中で、効率化・合理化の必要性が高まっている現状と、効率化を進める際には品質管理との両立が不可欠であることについてご示唆をいただきました。

第二部では、増子記念病院の朝倉先生より、委託会社撤退に伴う給食体制の見直しや見積もり時の課題など、現場でのご経験を報告いただき、続いてエームサービスの奥菌先生より、朝食提供の効率化や院内食事基準の統一など、具体的な取組事例をご紹介いただきました。その後のディスカッションでは、契約や業者変更の期間、今後の運営方針、施設と受託会社の連携体制などについて活発な意見交換をさせて頂き、有意義な研修会となりました。短い時間ではありましたが、今後の病院給食の在り方を改めて考える、有意義な研修会となりました。

（報告者：佐藤 英成）